



〒314-0031 茨城県鹿嶋市宮中 4631-1
鹿嶋市まちづくり市民センター内
TEL 0299 (85) 2601・FAX 0299 (85) 2602
E-mail kashimanada_info@yahoo.co.jp
URL http://www.geocities.jp/kashimanada_info

開講式号

第十期開講の

挨拶



塾長 長 毅
君和田 毅

第十期かしま灘楽習塾開講式を迎えられました。おめでとうございました。

今期の「かしま灘楽習塾」の申込み状況は、講座数は103講座、教授数は69名、塾生数は延べで約1,450名でした。どうぞこれから1年間かしま灘楽習塾三ツツを存分に楽しんで下さい。

本塾の初代塾長である西岡邦彦さんが第1回開講式に寄せた文中に、「かしま灘楽習塾が5年先、10年先に空気のような存在として鹿嶋文化の底辺を担えるように」という言葉があります。

今期10周年を迎えて、果たしてこの思いはどこまで実現できているでしょうか？

平成26年度のデータでは、塾生の21%が男性で、女性が79%でした。地域別で見ると鹿嶋市民が80%で神栖市民が5%、鉾田市民が4%、潮来市民が7%、行方市民が2%、その他県外が2%で広く様々な地域から来ていることが伺えます。年齢構成で見ると最高齢者は女性

で91歳でした。男性では89歳でした。最少年齢者は3歳でした。2世代、3世代で参加している塾生もいらっしゃいます。年代別の主流は、60才代で半数の50%あり、50才代から70才代みると88%になります。

- ② 清見潟大学塾との交流研修会 8月24日(月)・25日(火)
- ③ 記念講演会 10月30日(金)
- ④ 博士会発足 28年1月
- ⑤ 記念誌の発行

塾生の中には複数の講座を受けている人も多く、一番多い人は7講座受けている人もいました。介護認定率という平成26年のデータでは、国が17・9%、県が14・8%。鹿嶋市は12%と全国平均よりも5・9%も低い値です。理由はいろいろあると思いますが、鹿嶋市では、生涯学習の盛んな街であります。学び元気な高齢者の存在が、その一つの原因である可能性が大であると思います。

これらすべての事業には、各学部から推薦を頂いて実行委員会を立ち上げ、詳細は決めていきますが、それぞれが思い出に残る素晴らしい事業になるよう皆様のお力をお借りしたいと思います。

本楽習塾は、開講以来、「楽しく学んで、鹿嶋人の輪を広げる」をモットーに塾生数、1,500名を超える巨大な生涯学習の場に発展してきました。皆さんは、縁あって塾生となりました。皆さんは、縁あって塾生となりました。各講座内だけではなく、さまざまな行事に参加していただき講座の枠を越えた仲間と出会い、輪を広げ、語り合うことをして欲しいと思います。

本塾は、規模の大きさにふさわしい公共的な責任と自覚も求められています。自由には責任が伴います。慣れや慢心を払拭し、気持ちを新たに建学の精神に則り運営していきたいと思っておりますので皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

ここで10周年の記念事業を紹介いたします。

「遊び心」の中にも、最低限のルールを守り、皆さんひとり一人がより楽しい「かしま灘楽習塾三ツツ」を送れることを願ってやみませぬ。

① スポーツレクリエーション大会の開催 5月31日(日)

最後になりますが、日頃よりかしま灘楽習塾の事業運営に多大なご理解とご協力を頂いております鹿嶋市まちづくり市民センター関係諸氏の皆様にご心より感謝申し上げます。第10期開講の挨拶といたします。



第9期塾祭



楽しくがんばった自信 ほんのちょっと緊張感

第9期「塾祭」2月11日に鹿嶋勤労文化会館で、第10期「開講式」は3月29日に大野ふれあいセンターで別々に開催しました。

どちらも多くの方にご来場いただき、1年間の成果やこれからの楽しみを感じさせてくれるものとなりました。



20講座が出演 塾生の年齢差の広さは灘塾ならではの



「花は咲く」の全員合唱で一体感のある塾祭になりました。



第10期開講式

17名の博士号、大淵氏・石黒氏への灘塾賞、教授暦10年の名誉教授の表彰が行われました。



君和田塾長あいさつ。来賓として、川村等教育長、根崎彰市議会議長がかけつけてくれました。

記念講話「アクティブ鹿嶋を目指して」講師の西岡氏は先日茨城県から「民間自治功労者」賞を受けました。

